

○ 北九州市における主な市民参画の取組状況

1 市民参画の必要性

多様化・複雑化する地域課題に対応するためには、これまで以上に、市政に対する市民の意見や提案をきめ細かく把握し、適切に市政に反映させていくことは不可欠。このため、多様な参画の機会が確保される必要がある。

2 主な市民参画の取組状況

区分	取組内容	概要
個人形式	市民のこえ	市民のこえを市政に反映させるため、市民文化スポーツ局広聴課や各区総務企画課及び出張所において、市民からの要望、苦情、相談・問合せ、意見等を電話・来訪・文書等で受け付け処理している。
	市政提案箱	市のホームページ上に「市政提案箱」を設け、市に対する具体的で建設的な意見・提案や相談等を入力フォームを利用して受け付けている。受け付けた意見等は「市民のこえ」として処理している。
	市長への手紙	市民が主役の市政を推進していくために参考とするため、市長に対して直接、意見や提案ができる制度。
集会形式	タウンミーティング	市民との協働によるまちづくりを進めるため、さまざまな市政の重要テーマについて、市長が市民と直接、双方向で対話し、意見を聴いている。
	市長と気軽にランチタイム	北九州市のまちづくり施策の参考とするために、市長と市民が昼食をとりながら、まちづくりについて気軽に意見交換を行うもの。
	区長懇話会	各区において、それぞれの区の特性を十分生かしながら魅力あるまちづくりを進めるため、区ごとに市民との懇談会を実施している。
	出前講演	市が重点的に取り組む施策や事業について、市民の理解と協力を得るため、各局区別に講演テーマを準備し、市内の各種団体等からの要請に応じ、市の幹部職員が直接地域に出向き講演を行っている。また、その際に市民と意見交換を行い、市民の生の声を聴く場として実施している。
	出前トーク	市民に身近な特定の事業について、担当局の職員が積極的に市民グループの中へ出向いて説明を行い、理解と協力を求めている。
調査形式	市民意識調査	毎年、「市政全般について市民の施策への評価・要望」と「市政に関する特定のテーマについての市民意識」を把握するために実施。 ○調査対象 20歳以上の市民3,000人 ○選出方法 住民基本台帳から等間隔抽出
	市政モニター	市民の意見が反映された明るい市政と活力あるまちづくりのため、市政モニターを置き、市政に対する市民の意識や、意見要望を聴いている。 ○定員 150人(任期1年) ○選出方法 20歳以上の市民の中から公募
	市民意見提出手続(パブリックコメント制度)	市が基本的な計画等を立案する過程において、あらかじめその案を公表し、これに対して市民等から提出された意見を考慮して基本的な計画等の決定を行うとともに、提出された意見の概要とこれに対する市の考え方等を公表している。
会議形式	付属機関・市政運営上の会合	市民や外部の有識者の意見を適切に市行政に反映するため、市民をはじめとした外部の人材に、条例で設置する「付属機関」や要綱で設置する「市政運営上の会合」に参加していただいている。 幅広く意見を求めるため、年齢、兼務の数、女性委員の比率や公募委員

	の導入など、委員の選任にあたっての留意事項を、次の要綱で定めている。 <要綱> ・付属機関及び市政運営上の会合の運営及び委員等の選任等に関する要綱 ・付属機関及び市政運営上の会合への女性委員参画促進要綱
--	--

3 市民参画の取組実績

(1) 市民のこえ

年度	21	22	23	24	25
実績	97,217件	87,984件	90,460件	100,636件	99,553件

(2) 市政提案箱

年度	21	22	23	24	25
実績	97件	146件	130件	137件	81件

(3) 市長への手紙

年度	21	22	23	24	25
実績	907件	912件	1,973件	2,048件	545件

(4) タウンミーティング

年度	21	22	23	24	25
実施回数	7回	21回	8回	8回	9回
参加者数	1,796人	2,200人	1,275人	1,541人	1,239人
主なテーマ	環境モデル都市 北九州ブランド 子育て日本一	自治基本条例 文化振興計画 子育て日本一	地域防災 高齢者支援	災害廃棄物受入 市制50周年	(仮称)新球技場 環境首都 安全・安心条例

(5) 市長と気軽にランチタイム

年度	21	22	23	24	25
実績	12回	7回	10回	6回	4回

(6) 区長懇話会

年度	21	22	23	24	25
実績	12件	12件	12件	13件	10件

(7) 出前講演

年度	21	22	23	24	25
実施回数	389回	371回	501回	459回	429回
参加者数	24,472人	22,358人	25,763人	21,102人	19,430人

(8) 出前トーク

年度	21	22	23	24	25
実施回数	229回	21回	2,824回	1,950回	1,612回
参加者数	10,171人	704人	177,703人	94,320人	56,588人

(9) 市民意識調査

○市政評価と要望の上位5位（平成25年度実施結果）

市政評価（よくなっている）		市政要望（もっと力を入れてほしい）		
項目	スコア	項目	スコア	
1位	ごみの適正処理とリサイクル	915	高齢社会対策の推進	953
2位	緑のまちづくりの推進	800	防犯、暴力追放運動の推進	852
3位	防犯、暴力追放運動の推進	674	子育て支援の推進	737
4位	健康づくりの推進	585	産業の振興	501
5位	子育て支援の推進	386	医療・衛生管理体制の充実	472

※スコアとは、1位を3点、2位を2点、3位を1点として計算した合計

○特定テーマ

年度	特定テーマ
21	新しいまちづくりによる市民満足度等調査について
22	多文化共生について
23	市民のちから～みんなでまちをつくる～
24	仕事の見直しのための状況調査
25	市民のモラル・マナーについて

(10) 市政モニター（アンケート実施回数）

年度	21	22	23	24	25
実績	10回	9回	9回	10回	8回

(11) 市民意見提出手続（パブリックコメント制度）

年度	21	22	23	24	25
実績	15件	11件	14件	14件	13件

(12) 付属機関・市政運営上の会合

年度	21	22	23	24	25
会議体の数	95件	103件	101件	87件	79件
委員数	1,579人	1,596人	1,636人	1,502人	1,364人
女性委員数	539人	529人	590人	603人	566人
女性委員比率	34.1%	33.1%	36.1%	40.1%	41.5%
公募制を導入している会議	5件	5件	6件	7件	6件
公募委員数	40人	18人	44人	19人	19人

参 考

○北九州市安全・安心条例の制定過程における市民参画の事例（条例成立：H26.6議会）

- ①北九州市安全・安心条例検討委員会での検討（H25.7～H25.12、5回開催、委員数14名）
- ②タウンミーティング（地域ふれあいトーク）の7区での開催（H25.9～H25.11）
- ③出前講演・出前トークの実施（H25.4～H26.5、57回開催、延べ2,574人参加）
- ④パブリックコメントの実施（意見募集期間：H26.3.14～H26.4.2、提出意見数：174件（提出者数147人））

4 市民参画に係る市民意識調査の結果（平成21・24年度 市政満足度調査）

○あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。

回答	21年度(%)	24年度(%)	増減(%)
大いに感じている	1.9	1.7	▲0.2
ある程度感じている	13.5	15.7	2.2
どちらとも言えない	38.8	46.3	7.5
あまり感じていない	30.5	22.6	▲7.9
ほとんど感じていない	11.6	11.0	▲0.6
無回答	3.7	2.7	▲1.0

○「あまり感じていない」、「ほとんど感じていない」理由について、主なものを2つまで選んでください。

回答	21年度(%)	24年度(%)	増減(%)
市政に関する情報発信が不十分	28.6	26.3	▲2.3
市政に意見や質問を伝える方法が分からない	55.1	42.7	▲12.4
自分の意見が市に届いているという実感がない	43.6	40.9	▲2.7
意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	20.0	21.8	1.8
市の取り組みに関心がない	6.0	9.8	3.8
その他	7.5	9.0	1.5
無回答	0.7	2.6	1.9

○評価の視点

・参画し易い環境が整っているか

市民参画の制度を市民に適切に周知しているか
多様な市民が参加しやすい手続きになっているか、
会議などは、時間帯や場所など、参加しやすい工夫がされているか等

・市民の意見や提案が市政に適切に反映されているか

多様な市民の意見や提案を聞いているか
市民の意見や提案を市政に反映させているか
市民の意見や提案を反映させた事例が市民に伝えられているか
市民の意見や提案は市内部で適切に共有されているか